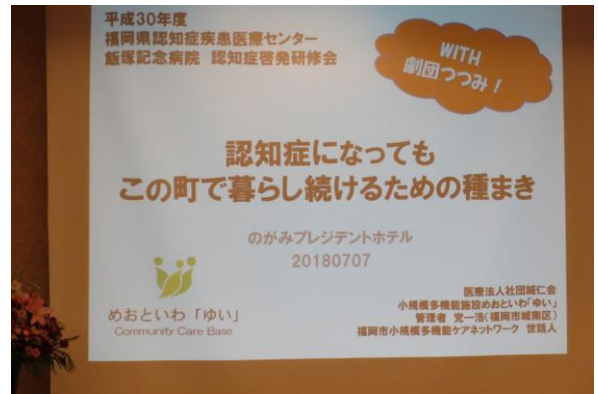


認知症 市民向け研修会の開催報告



党先生の講演のご様子です。参加者からは、もっとたくさんの時間をかけて、お話が聞きたかったというお声を多く頂きました。皆様、本当にありがとうございました。今回の研修会に関しては別の形で、皆様方に再度ご案内ができればと企画している最中です。

平成30年7月7日土曜日、飯塚記念病院 福岡県認知症医療センター主催の今年度第1回目、一般市民向けの認知症啓発研修会をのがみプレジデントホテルにて開催させていただき、民生委員、主婦、地域包括支援センター職員、グループホーム管理者、ケアマネージャー、精神科病院の看護師など当日は128名の方々に参加して頂きました。(事前申し込みは168名の申し込みがありました。)

今回は、前日に記録的大雨があり、飯塚の地も大きな影響がありました。その中で、研修会の中止を一時検討しましたが、講師の党先生の思いと参加者の皆様方からのご要望にお応え、内容を一部変更し、時間短縮という形で開催させていただきました。

当日はお足元が悪い中、また大雨の影響で色々ご苦労がある中、党先生、参加者の皆様方には本当にご参加頂きまして、改めてこの場で御礼申し上げます。

さて、講演では、「認知症になってもこの町で暮らし続けるための種まき」という演題で、小規模多機能施設 めおといわ「ゆい」 施設長 党一浩先生に、認知症の概念、関わり、事例を通じて、地域の方々が認知症を患う方をどのように支援していくか、わかりやすく講演していただきました。

最後になりますが、次回の研修会は、第2回市民啓発研修会を9月29日土曜日午後1時～午後3時30分まで、のがみプレジデントホテルにて開催させていただく運びとなっています。(定員：200名) 多少時間が前後しますことを事前に皆様方にお詫びいたします。

講師は、北九州市社会福祉協議会 社会福祉士 渡辺文華先生をお招きし、講演を考えています。演題は、「認知症を学び地域で支える 認知症の“”人の気持ち”～さらば!特殊詐欺!!」です。

本研修会では、寸劇を企画しています。皆様方の中で、認知症のご本人や家族、介護職の役割をやってみたいという方がいましたら、なんなりとご連絡いただければ幸いです。

今後とも、皆様方のご支援、ご協力の程、宜しくお願ひ致します。

